

指紋認証ソフトウェアのアンインストール方法

USM512FL の画像を使用していますが、USM128F と USM512FL は同じ手順で行えます

[ご注意]

- ・ 他のコンピュータでこのポケットビットを用いて指紋認証機能を使用している場合、アンインストール時にポケットビット内の個人データを削除すると、他のコンピュータでは指紋認証機能が使用できなくなるのでご注意ください。

ソフトウェアのアンインストールを開始するためには次のように 2 つの方法があります。

1. スタートメニューから「すべてのプログラム」「指紋認証ソフトウェア」「アンインストール」を選択します。

または

2. コントロールパネルから、「プログラムの追加と削除」を起動し、表示されるリストの中から「指紋認証用ソフトウェア」を選択して[削除]ボタンをクリックします。

上記いずれかの手順でアンインストールウィザードが開始します。

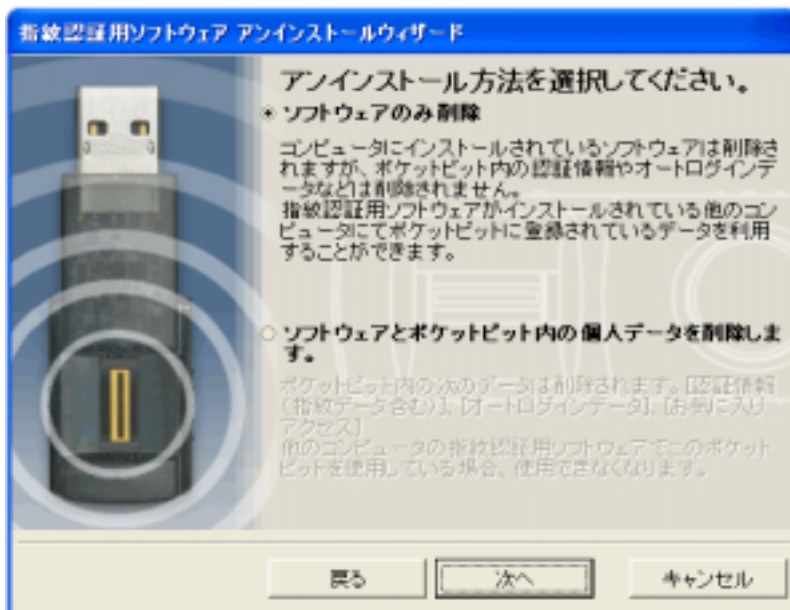
- (1) アンインストールの最初の画面が表示されます。[次へ]ボタンをクリックしてください。



- (2) アンインストールの方法を選択してラジオボタンをチェックし、[次へ]をクリックしてください。

ソフトウェアのみ削除

コンピュータにインストールされているソフトウェアを削除します。しかし、ポケットビット内の認証情報やオートログインデータなどは削除されません。



ソフトウェアをアンインストールする前にソフトウェアにて暗号化したファイルを復号してください。暗号化ファイルはソフトウェアがインストールされていないと復号できません。



完了ボタンを押してください。アンインストールが完了します。

アンインストール処理が完了したことを確認の上、

“C:¥Windows¥FG”（Windows 2000 の場合は“C:¥WINNT¥FG”）

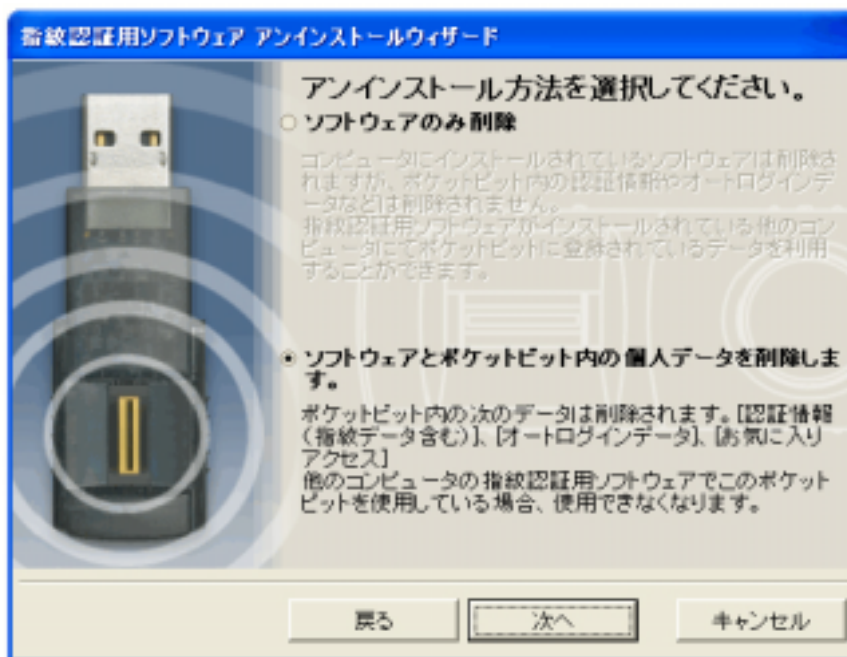
を内部のデータを FG フォルダごと手動で削除し、その後「ゴミ箱を空にする」を実行してください。

*他のフォルダは絶対に削除しないでください。

お使いのコンピュータが正しく起動できなくなる可能性があります。

“ ¥System Volume Information¥_restore{xxx ~ “ 配下のファイルがウイルスと判断される場合、文末の方法で一時的にシステムの復元を無効にしてください。

ソフトウェアとポケットビット内の個人データを削除



注意:

この方法でアンインストールすると、ソフトウェア以外にポケットビット内の個人データ(指紋及び、パスワード、オートログイン登録データ、お気に入りアクセス登録データ)が削除されます。

ポケットビット内の個人データを削除するには本人確認が求められます。



完了ボタンを押してください。アンインストールが完了します。

アンインストール処理が完了したことを確認の上、

“C:¥Windows¥FG” (Windows 2000 の場合は“C:¥WINNT¥FG”)

を内部のデータを FG フォルダごと手動で削除し、その後「ゴミ箱を空にする」を実行してください。

*他のフォルダは絶対に削除しないでください。

お使いのコンピュータが正しく起動できなくなる可能性があります。

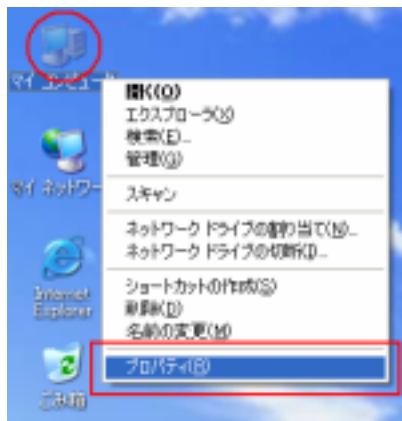


“ ¥System Volume Information¥_restore{xxx ~ “ 配下のファイルがウイルスと判断される場合、以下の方法で一時的にシステムの復元を無効にしてください。

注意：

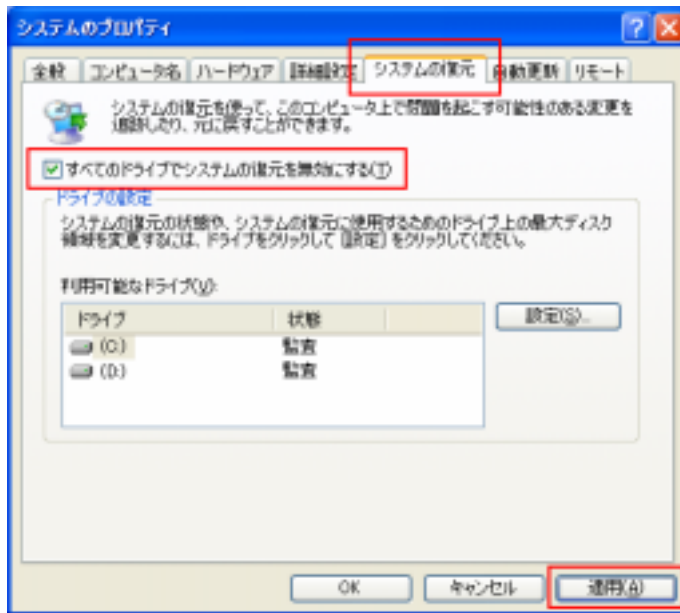
システムの復元ポイントを無効にすると、復元ポイントがすべて削除され、お使いのコンピュータの変更を元に戻したりすることができなくなります。

1.マイコンピュータを右クリックし、メニューから[プロパティ]を選択してください。

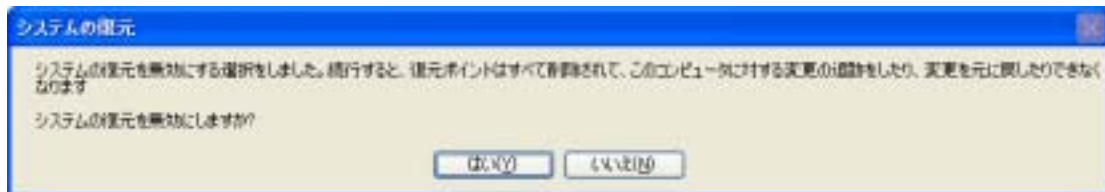


2.[システムのプロパティ]画面にて[システムの復元]タブを選択し、[すべてのドライブでシステムの復元を無効にする]にチェックを入れ、[適用]をクリックしてください。

お使いの OS やドライブ構成により、画面は異なる場合があります。



3.システムの復元を無効にしてよいかの確認メッセージが出力されますので、問題がなければ[はい]をクリックしてください。



4.念のためローカルディスクのウイルス検査を行い、問題ないことを確認してください。

5. 手順2で行った[すべてのドライブでシステムの復元を無効にする]のチェックを外し、[適用]をクリックしてください。これでシステムの復元機能が再度有効になります。